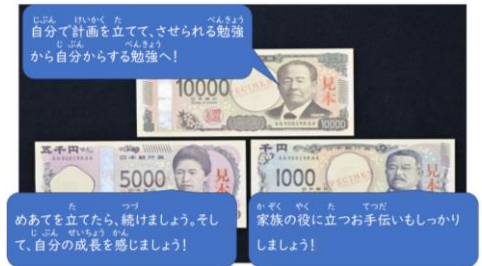




## 自分を伸ばす夏休み!

さて、いよいよ今日で1学期を終え、明日から夏休みになります。終業式で、私から子供たちに「自分を伸ばす夏」にして欲しいと伝えました。そしてそのヒントに「新札の顔」になった方々の名言から、夏休みの過ごし方を考えました。

6年生の子供に新札の3人の名前を尋ねると、10,000円が渋沢栄一さん、5,000円が津田梅子さん、1,000円が北里柴三郎さんと答えてくれました。そして、私から3人それぞれの業績を伝えました。そして、3人の名言を紹介しました。渋沢さんは「むやみに学科ばかり詰め込めば学問の食傷を起こす。」これは、「勉強は、本当は自分で考え、自分の疑問を解決するためにするものです。そうすると新しい発見があり、そこに驚きとか喜びがあるのです。」と説明しました。津田さんは「何かを始めることは易しいが、それを継続することは難しい。成功させることはなお難しい。」これは、「目標やめあてをもって、『やろう!』と思ってやり始めることは簡単にできます。しかし、続けることは難しいのです。」と説明しました。北里さんは「研究だけをやっていただけではダメだ。それをどうやって世の中に役立てるかを考えよ。」これは、「テストの点数だけを伸ばすことだけが、勉強の目的ではありません。自分を成長させて、人の役に立つことが、勉強の目的です。」と説明しました。そして、3人の名言から、夏休みは、①自分で計画を立てて、させられる勉強から自分からする勉強へ! ②めあてを立てたら、続けましょう。そして、自分の成長を感じましょう! ③家族の役に立つお手伝いもしっかりしましょう! と夏休みに生かすヒントを伝えました。子供たちが帯西レッドの心を発揮できる夏休みにして欲しいと思います。



## 生の演奏から学ぶ

昨日18日(木)は、5年生が弦楽器の演奏家の方を招いて、生の演奏を鑑賞することができました。養護の高山先生がバイオリンの演奏家でもあるため、その仲間の方々に来校していただきました。5年生の教科書に掲載されている「アイネ クライネ ナハト ムジーク 第一楽章」を演奏してもらいました。以下は、子供たちの感想です。



滑らかな音色で、うっとりしました。演奏が終わっても、心の中でその音が響いている気がしました。／演奏を聴いて、言葉で言えないほどの迫力と美しさと、4人の演奏者の人たちの息の合った演奏が、心に響き、生まれて初めての感動を味わいました。／迫力があって、まとまっていてきれいな音でした。近くでこんな生演奏を聴いたのは初めてなので、とても楽しかったです。

贅沢な時間を過ごすことができ、子供たちの感性を育むことができた時間となりました。

## 1学期お世話になりました

今日無事に、1学期の終業式を迎えることができました。これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様、帯山西小学校の子供たちを支えてくださっている全ての皆様のお陰と思っています。子供たちは、帯西レンジャーと共に活躍しながら、確実な成長を見せています。

また2学期の始業式8月29日(木)に、元気な姿を見せてくれると思います。1学期は、たいへんお世話になり、ありがとうございました。